

(様式3-4)

〔鉄筋コンクリート造〕
工事監理状況報告書【中間検査用】

年 月 日

建築主様 様

報 告 者 住 所
(工事監理者) 事務所名
氏 名

下記、工事中の建築物の工事監理状況について、建築基準法第12条第5項の規定により次のとおり報告します。

建築主氏名		
工事場所		
確認済証	年 月 日	第 号
	確認機関名	
計画変更 確認済証	年 月 日	第 号
	確認機関名	

工事監理の状況

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者確認結果※1		検査員記録※2
		A目視確認	結果	結果
		B計測確認		
		C書類確認		
1 (法89)確認表示板	☐ 建築確認表示板の設置	A	適・不	適・不
2 (法90)工事現場の危害の防止	☐ 仮囲い,防護ネット,山留	A	適・不	適・不
3 (法19)敷地の衛生及び安全	☐ がけ・擁壁の安全性,敷地の衛生及び安全	A・B・C	適・不	適・不
4 (法40,42,43)敷地と道路の関係	☐ 道路の幅員	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 道路に接する敷地の長さ	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 敷地内通路,専用通路の幅及び長さ	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 2項道路の後退	A・B・C	適・不	適・不
5 (法52～54)敷地形状,容積率,建蔽率	☐ 敷地形状及び高低差	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 基礎形状・建物形状	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 建物配置(道路,隣地からの離れ)	A・B・C	適・不	適・不
6 (法56)斜線制限	☐ 建築確認図書の立面図との照合	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 道路,隣地,北側敷地境界線からの後退距離の確認	A・B・C	適・不	適・不
7 (令38,79,告示1347)基礎・地盤 (令77,78,79) (令73,告示1463) (令73,告示1463) (令72,74,告示1102) (令76,告示110)	☐ 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法()	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 地耐力が得られなかった場合の措置 措置の内容()	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 杭種・工法・打設結果の確認	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 径,長さ,本数	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 杭偏芯の有無・処理(基礎・梁の補強)	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 杭頭処理	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 主筋・あばら筋等の本数,径及び間隔,かぶり厚	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 主筋の定着	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 継手の位置	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 梁貫通補強	A・B・C	適・不	適・不
	☐ コンクリートの品質・規格	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 型わく及び支柱の除去	A・B・C	適・不	適・不
8 基礎・上部共通	☐ 基礎出来形(各部材の形状,寸法の確認)	A・B・C	適・不	適・不
	☐ 配筋仕様(大臣官房・JASS) その他 ()	A・B・C	適・不	適・不

			☐ 鉄筋の品質・規格(ミルシートの確認)	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 継手の接合方法()	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 継手試験方法・結果(抜取り・超音波探傷)	A・B・C	適・不	適・不
9	上部構造	全体 (令73,79)	☐ 鉄筋の乱れ,踏み荒らし,波打ち,たるみの有無	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 柱,梁,耐力壁,スラブの配置	A・B・C	適・不	適・不
			☐ かぶり厚さの状況	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 型枠中の清掃状況 (木片、その他のゴミ)	A・B・C	適・不	適・不
		柱(令77)	☐ 主筋本数,径,配置方向(次階の主筋を含む)	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 各階止まり柱頭主筋の止まり高さと定着状況	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 柱仕口部分の帯筋の径,間隔	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 第一帯筋の位置と柱頭拘束帯筋の有無	A・B・C	適・不	適・不
		梁(令78)	☐ 主筋,あばら筋,腹筋,幅止め筋の状況	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 主筋の定着方法,長さ	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 中吊り筋の位置	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 継手の位置,長さ(重ね継手の場合)	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 片持ち梁の主筋の位置と定着	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 貫通孔の位置,補強方法	A・B・C	適・不	適・不
			☐ ハンチ部分のあばら筋補強	A・B・C	適・不	適・不
		スラブ	☐ 主筋方向,径,間隔,スラブ厚	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 定着方法,長さ	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 継手の位置,長さ	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 片持ちスラブの定着と上端筋位置	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 隅部,開口部,設備配管に対する補強	A・B・C	適・不	適・不
		壁	☐ 縦筋の定着方法,長さ	A・B・C	適・不	適・不
			☐ 壁交差部の縦筋補強	A・B・C	適・不	適・不
			☐ スリットの位置,施工状況	A・B・C	適・不	適・不
		その他	☐ 設備配管(CD管等)の配置	A・B・C	適・不	適・不
10	その他※3			A・B・C	適・不	適・不
				A・B・C	適・不	適・不
				A・B・C	適・不	適・不
				A・B・C	適・不	適・不
				A・B・C	適・不	適・不

指示内容※4

--

検査に用意する図書の例※5

確認関係図書	■確認申請図書 ■告示第1347号による基礎構造図
工事監理記録	■支持地盤確認 ■配筋検査 ■型枠施工検査
使用材料の品質を示す書類	■鉄筋ミルシート ■コンクリート試験結果等 ■使用材料品質証明書
検査結果報告書	■杭工事施工結果報告書 ■コンクリート工事施工結果報告書 ■自主検査報告書
その他	■工事写真 ■認定・評定書の写し ■各種施工要領書

※1 確認項目を現場でチェックし、適合は「適」に、不適合は「不」に○印を記入してください。
(該当しない項目は記入しないでください)

※2 太線枠内は記入しないでください。

※3 確認事項の項目にないものは、「10その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載してください。

※4 確認結果で不適合がある場合は、その項目番号(例:3-1)と現場で指示した内容を、「指示内容」欄に記入してください。

※5 「■」の図書について、該当する工事が無い場合は用意不要です。